

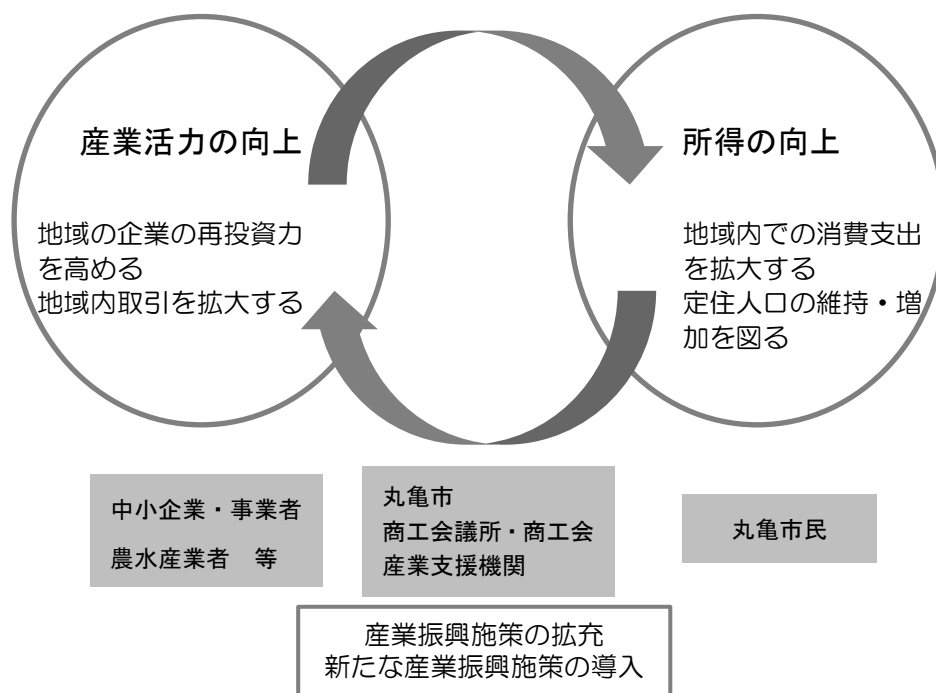
第4章 産業振興の基本的な考え方

1. 丸亀市における産業振興の視点

地域内経済循環と再投資の促進

- グローバル化の進展や少子化・高齢化による国内市場の縮小などが地域経済を覆うなかで、本市の産業構造は大きな変容を遂げてきました。
- 本市では、多くの産業で人材の確保や後継者の育成等に課題を抱えており、地域的な視点でみた場合も、島しょ部の過疎化や平野部における耕作放棄地の増加、中心市街地の空洞化など、「産業活力の源」が衰退してきている状況にあります。
- 一方で、本市は、歴史・文化・芸術・伝統と産業が共存する地域として、産業の活力を生み出す土壌は多様性を有し、「産業活力の源」をいかに取り戻すかが重要となっています。
- 現状は、本市を取り巻く様々な課題によって、産業間での協力や連携が不足している状況にあり、こうした状況を打破し、いかに地域内での経済循環と再投資を促進していくか、異業種等の横断的連携も含めた対策が必要になります。

[図表 4-1] 地域内経済循環と産業振興



2. 産業振興の基本的な考え方

地域内経済循環と再投資の促進の視点から、本市の産業振興に取り組む「5つの基本的な考え方」を示します。

基本的な考え方 1

既存事業者に対する事業革新を支援します

- まず、事業者自身が自らの事業を再点検し、新たな事業の創造に向けた取り組みを行います。本市は、こうした事業革新に向けて頑張る企業に対して、様々な支援メニューによって応援していきます。

基本的な考え方 2

創業や第二創業支援の拡充により、新規活力を創出します

- 新たに本市で創業したり、第二創業を目指す事業者を積極的に支援します。構想段階から創業、その後まで、継続的な支援体制を構築し、本市内での定着を図ります。

基本的な考え方 3

産業人材の確保・育成により、持続性を推進します

- 産業活力の源である人材の確保・育成の支援に積極的に取り組みます。とりわけ、学生を中心とする若手人材と企業を結びつける支援を一層推進していきます。

基本的な考え方 4

丸亀ブランドの確立と外部への販路開拓支援を強化します

- 本市の地域資源を活かした多様な商品開発を通じて、丸亀ブランドの確立に取り組むとともに、SNS 等を活用してより効果的に丸亀ブランドの PR に取り組みます。また、「地域商社」機能を通じて、外部への販路開拓支援を強化します。

基本的な考え方 5

地域間や業種間、世代間など多様な連携を推進します

- それぞれの地域が持つ個性を尊重するとともに、地域間で相互に連携しながら、産業振興に取り組めます。また、異業種・同業種や産学官金等の連携、世代間連携等を活発化することにより、新たな事業機会の創出を図ります。